

Interventional Heart Failure Therapy Case Club 番外編

IHF Therapy ではないけれど Post-DanGer-Shock Era には AMI ショックを議論しナイト！

Case Presenter



中田 淳 先生
日本医科大学

Guest Commentator



坂倉 建一 先生
自治医科大学附属さいたま医療センター

日時

2024 年 **11** 月 **6** 日 (水)
18:30 – 19:45

会場

Zoom ウェビナー
(事前登録制)



Director



絹川 弘一郎 先生
富山大学

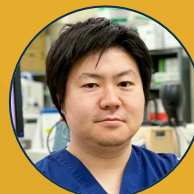


上妻 謙 先生
帝京大学



佐藤 直樹 先生
かわぐち心臓呼吸器病院

Moderator



朔 啓太 先生
国立循環器病研究センター研究所

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです。上記の二次元バーコードから事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにてご連絡いたします

本ウェビナーに関するお問い合わせ
日本アビオメッド株式会社 マーケティング japan_marketing@abiomed.com

販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル
承認番号: 22800BZ100032000
販売名: IMPELLA 5.5 補助循環用ポンプカテーテル
承認番号: 30300BZ100040000
一般的名称: 循環補助用内留置型ポンプカテーテル
医療機器クラス分類: IV 高度管理医療機器
特定保険医療材料機能区分: 193 補助循環用ポンプカテーテル

販売名: IMPELLA 制御装置
承認番号: 22800BZ100031000
一般的名称: 循環補助用内留置型ポンプカテーテル用制御装置
医療機器クラス分類: III 高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
選任製造販売業者: 日本アビオメッド株式会社
外国特例承認取得者: ABIOMED, Inc.

Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impella は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に10,000例を越える国内症例経験が蓄積されています。Impella は救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します^{1,2}。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpellaをはじめとした最新デバイスを組み合わせる Interventional Heart Failure (IHF) Therapy は患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impella を含むIHF Therapy の達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャー インターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません^{3,4}。本ウェビナー(定期開催予定)では、各専門領域のエキスパートをお迎えしてIHF Therapy の実践例をディスカッションすることで、Heart Recovery に取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよいIHF Therapy 提供の一助になればと考えております。

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal - Case Reports. 2020. doi.org/10.1093/ehjcr/ytaa418
2. Iida, Artif Organs. 2019 Aug;43(8):806-807. doi: 10.1111/aor.13434.
3. Panhwar, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.010.
4. Kapur, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.011.